

JACET関西支部 2024年度 第3回支部講演会

The JACET Kansai Chapter 3rd Lecture Meeting of the 2024 Academic Year

Title (1) : 「食の都Fukuokaにおける食育英語の実践報告」

A Practical Report on Nutrition Education in English in Fukuoka: The Culinary Capital of Japan

Lecturer: 津田晶子 先生 (中村学園大学)

Akiko TSUDA (Nakamura Gakuen University)

**Title (2) : 「国際化をめざす地方大学をつなぐ協働学習：
実践報告」**

Collaborative Learning for Regional Universities Aiming at Internationalization:

A Practical Report

Lecturer: 金志佳代子 先生 (兵庫県立大学)

Kayoko KINISHI (University of Hyogo)

Date: Saturday, **February 22, 2025, 15:30–17:00** **Venue:** Online (Zoom)

Fee: JACET会員・非会員共に参加費無料 ※事前申込不要。

Participation is free for both JACET members and non-members.

※No advance registration required.

Planning: 学術英語学会 / JACET関西ESP研究会 / JACET関西支部

使用言語は日本語です。

These lectures will be given in Japanese.

For more information, please visit the JACET Kansai Chapter Website <http://www.jacet-kansai.org>

(Photo : Nakamura Gakuen University)
<https://www.nakamura-u.ac.jp/outline/map.html>

講演概要

講演①：「食の都Fukuokaにおける食育英語の実践報告」

福岡市は東アジアへのゲートウェイであり、また、「食の都」として知られ、多様な食文化が根付いている。本発表では、福岡市の大学における食育英語教育の現状と課題を、フードダイバーシティーの視点から探る。まず、グローバル化が進む中で、栄養系学生にとって英語教育のニーズ分析について報告する。次に、中村学園大学栄養科学部を例に、ESPやCLILの導入事例を紹介し、実践的な英語教育の効果を検討する。また、福岡市の多文化共生社会における食育の役割についても触れ、ハラル、ビーガン、グルテンフリーなどの食の多様性に対応するための教育プログラムの必要性を報告する。今後の展望として、継続的なニーズ分析や国際交流プログラムの導入、フードダイバーシティーに関するセミナーの実施など、具体的な改善策を提案する。本発表を通じて、多文化共生社会における日本の大大学での食育英語教育の未来を共に考える。

本発表はJSPS科研費 JP22K00782 「小中高大連携を目指す持続可能な食育英語のCLIL：プログラム開発と効果検証」の助成を受けたものである。

講演②：「国際化をめざす地方大学をつなぐ協働学習：実践報告」

高等教育の国際化が進む中、外国人留学生と日本人学生が異文化間共修を行うEMI (English as a Medium of Instruction) 教育を特色とする大学が増えている。本発表では、世界各国から集まった外国人留学生が、英語を共通語 (ELF : English as a Lingua Franca) として専門分野に加え、日本語や日本文化も学べる環境を提供している兵庫県立大学の現状を紹介する。また、兵庫県立大学で経営・経済学を学ぶ外国人留学生と、福岡県の中村学園大学でフード・サイエンスを専攻する日本人学生との協働学習に関する実践的な研究を取り上げる。さらに、地方都市の大学における5年間にわたる大学間協働学習の実施方法や教員の関わり方について紹介し、異なる言語的・文化的背景を持つ外国人留学生と日本人学生が日本にいながら交流できる利点を強調しつつ、今後の大学における国際化の展望について議論する。

【講師略歴】

津田晶子先生

比較社会文化学博士、英語科教授法修士 (MEd in TESOL) 、通訳案内士。九州大学文学部を卒業後、メーカー総合職、外資系航空会社地上総合職、産業翻訳・字幕翻訳業を経て、大学英語教員に。英国レディング大学客員研究員 (2013年度)。2007年中村学園大学短期大学部食物栄養学科に着任、2019年4月より栄養科学部フード・マネジメント学科准教授。

金志佳代子先生

同志社大学大学院にて英文学修士号を取得。2006年に兵庫県立大学経営学部に着任。英国レディング大学客員研究員 (2013年度)。2019年4月より、兵庫県立大学国際商経学部教授。